光が丘

学校教育目標

求めて学ぶ子ども

大津市立晴嵐小学校
学校だより　１２月号②
在籍児童数　９３７名
令和３年１２月２３日

ふり返る

美しく、そして力強く、大空に向かって伸びる手。この２学期を象徴するようなすてきなシーン（6 年生組体操：左と下）です。

11 月の体育発表会では、どの学年も練習の成果を大いに発揮し、素晴らしい発表を披露することができました。たとえフィジカル・ディスタンスをとっていても、決して大きな声は出せなくても、一人ひとりがそれぞれの思いを十分に表現できていたと思います。

笑顔あふれるダンス。力強く、伸びやかに演じた民舞。引き締まった表情、凛とした姿が印象的だった旗体操や組体操…。「それぞれの学年の良さ」を感じ、魅了されました。来年度は、ぜひ全ての保護者の皆様、地域の皆様に披露できることを願っています。

まずは「認め」「褒める」、そして「励ます」！

さて、２学期も新型コロナウイルスが感染拡大し、多くの制限がかかる中での学校生活が続きましたが、この体育発表会に見られるように、子どもたちは本当によくがんばってきました。昨日までに通知表をお渡しし、各担任より、一人ひとりのがんばりを伝えさせていただきました。お家でも、通知表を元に２学期をふり返りながらいろいろとお話をしていただいたことと思います。

その際、お子さんのがんばりを**まずは「認め」、「褒め」**ていただきましたでしょうか。**「励ます」**ことはもちろん必要ですが、以前（２年前）にも学校だよりでお伝えしているとおり、どんな小さなことであっても、まずは「認め」「褒める」ことが大切です。

大津市教育委員会特別支援教育スーパーバイザーのお話では、「脳は感情が『快』の時に発達するので、がんばったことに対しては必ず『賞賛』することが必要だ」ということです。賞賛を受けることで、「幸せホルモン」と呼ばれているセロトニンやドーパミンが分泌されるそうです。人が楽しい、うれしいと感じるのはドーパミンがうまく分泌されることが影響しているといわれ、集中力がアップしたり、ポジティブな考え方ができるようになったりするともいわれています。

そして、何より注目しなければいけないのは、励ました（叱った）後に褒めても「ドーパミンやセロトニンがうまく分泌されない」ということです。だから、「順番を間違えない」ようにしたいですね。

子どもたちは、新型コロナウイルスの影響を受けた「この厳しい１年」を一生懸命過ごしてきたと思います。子どもたちが、改めてそのがんばりを褒めてもらえる「楽しい冬休み」になることを願っています。

学校からのお知らせとお願い

【お知らせ】３学期に授業参観を計画しています。

２月 18 日（金）に予定しています。詳細につきましては、あらためて連絡いたします。
なお、今後の状況によっては中止することもございます。また、懇談会につきましては検討中です。

【お　願　い】 冬休みの過ごし方

「道路上でボール遊びや鬼ごっこをしたり、キックボードや自転車を乗り回したりしている。」等地域の方から『困っています』と連絡を受けることがあります。「地域の一員として、ルールを守って過ごす」ことはとても大切なことです。冬休みにあたり、子どもたちにわかるように、各ご家庭で今一度じっくりとお話していただくようお願いいたします。